

日の丸

中央区・清滝支部 鮫島 信一
(さめしま小児科)

「太陽神」を表す「日の丸」は、日本では古くから紋章として朝廷や武将たちに使用されてきたもので、江戸幕府も御用船の船印として使っていました。嘉永6(1853)年12月、島津家28代当主斉彬は、日本の船と外国の船とを区別するために、白地に赤の「日の丸」を日本のすべての船の船印とすることを提案しました。話し合いは難航しましたが、水戸藩の徳川斉昭が島津斉彬が提案した「日の丸」を強く支持したこともあり、安政元(1854)年7月11日、幕府は「日の丸」を日本の船の総船印に採用しました。

安政2(1855)年薩摩が造った日本最初の軍艦「昇平丸」は日本の船であるという印として初めて「日の丸」を掲げました。

明治3(1870)年には、日本郵船商船規則の中に規定され、以後日本の国旗としての機能を果たすようになりました(維新ふるさと館)。

待ちに待った東京オリンピックの年がやってきました。

第1回オリンピックは1896年ギリシャのアテネで開催されました。参加したのは14カ国で、参加選手は国の代表ではなく、大学やクラブでプレーする個人的参加がありました。

今年(2020)の第32回、東京オリンピックは205カ国、選手12,000人以上の参加が見込まれています。

優勝した選手を称え、国旗を掲げて国歌を斉唱する光景はお馴染みになりましたが、素晴らしい感動の瞬間もあります。今年は「日の丸」が何回掲がるか楽しみにしています。

国旗であるので、自分の国の旗が好きなのは当然です。

しかし、話題を変えて、205カ国の中を順不同に並べ、「国旗としてでは無く、どの旗が一番好きですか?」と聞いてみたら如何でしょうか?・・・・。

「白地に赤く　日の丸染めて　ああ美くしや　日本の旗は」が1位になると私は信じています。

こんなに素晴らしい旗を国のシンボルとして、国旗として使える様にしてくれた日本の先人達に万雷の拍手を送りたい気持ちです。

ひ　まる　くに　はた　せかいいっ
日の丸が　國ん旗でな　世界一
ひろ　う　ちゅう　ひ　の　ちよ
広か宇宙い　陽が登ぼっ居っ
さめしま　じ　じ　い
鮫島爺児医

